真空減容システム仕様書

Ⅰ　仕様書概要説明

○調達の背景および目的

東京電力福島第１原子力発電所事故の対応を行うため、多数の放射能測定の要請がなされ、当研究所でも１０以上有するゲルマニウム半導体検出器がフル稼働の状況になっている。科学技術戦略推進費の「ほ場環境に応じた農作物への放射性物質移行低減対策確立のための緊急調査研究」プロジェクトを円滑に推進するためには、ゲルマニウム半導体検出器を占有できる時間が制約されるため、測定時間の短縮が不可欠である。本機種は、放射能の測定速度をあげることを目的に、試料の水分や空隙を除去することで、清浄な雰囲気下で単位容積当たりの重量を増加させる装置である。

Ⅱ　調達物品名及び構成内訳

真空減容システム　　１式

（内訳）

ベーパートラップ	１台
真空制御装置	１台
真空ポンプ	１台
交換型トラップ	２台
マニホールド	１台
減容容器	４個

Ⅲ　納入期限

平成２５年２月１５日

Ⅳ　納入場所

茨城県つくば市観音台３－１－３
独立行政法人　農業環境技術研究所

Ⅴ　技術要件の概要

本調達に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は以下に示すとおりである。

（１）　必須の要求要件は本研究所が必要とする最低条件を示しており、入札機器の性能等がこれを満たしていないとの判定がなされた場合には不合格となり、落札決定の対象から除外する。

（２）　入札機器の性能等が、技術的要件を満たしているか否かの判定は、本研究所内にて、入札機器に係る技術仕様書を含む入札説明書で求める提案資料の内容を精査して行う。

Ⅵ　技術的要求要件

（１）性能能に関する要件

以下の要件を満たしていること。

（ベーパートラップ）-

１．チャンバー容量が８Ｌ以上であること。

２．チャンバーは１日当たり４Ｌ以上の水蒸気の捕集能力があること。

３．チャンバーの冷却温度がー７０℃以下であること。

４．本体の重量が４０ｋｇを超えないこと。

（真空制御装置）

５．0.1kPa から大気圧まで、フルスケールの０．２５％精度での圧力制御が可能であること。また設定値が 0.01kPa で制御できること。

（真空ポンプ）

６．真空ポンプは１分間に１３０Ｌ程度の排出能力があること。

７．真空ポンプにはオイルミストトラップがついていること。

（交換型トラップ）

８．冷却トラップの解凍を待たずに試料の減容を行なうために、トラップごと交換が可能なこと。

（マニホールド）

９．最低６個の容器が接続可能であること。

（減容容器）

１０．８Ｌの容積があること。

１１．減圧容器は加熱可能な材質でできていること。

Ⅶ　その他

（１）　納入時及び納入後の適切な時期に機器の取扱説明を十分に行うほか、使用者が取扱要領を取得するまで責任を持って支援するものとし、これに要する経費は供給者の負担とする。

（２）　障害時の連絡体制として、保守要員への連絡が電話、FAX、携帯電話、電子メールのいずれかの方法で確保できること。

（３）　国内主要都市にサービス部門を有し、障害発生時に速やかに復旧できる保守体制があること。

（４）　引き渡しから１年以内の製造者側に起因するハード的あるいはソフト的な故障については、供給者において無償での対応をすること。

（５）　装置の取扱説明書について、日本語のマニュアルを１部提出すること。